

「地域移行・定着協力病院」の指定から

千葉県精神科病院情報公開に向けての提案

平成25年2月27日

富沢正昭

1. 前提
 - * 第4次千葉県障害者計画
 - * 保健医療計画の見直し
2. 進め方の提案
 - ①第1段階として、県による「地域移行・定着協力病院」の指定をおこなう。(平成25年度内を目標)……第4次千葉県障害者計画
 - ②第2段階として、県による千葉県精神科病院情報公開をおこなう(平成26年度内を目標)……保健医療計画の見直し
3. 「地域移行・定着協力病院」の指定に向けて
 - ①インセンティブとして以下の三点があり得る
 - * 県から退院促進・定着に協力的であると認定されること自体。
 - * 「高齢入院患者地域支援事業」の実施主体として認定する。
 - * 「遠隔地入院患者の退院支援病院」として認定する。
 - ②指定の条件
 - * 病院内で地域移行・定着のための多職種合同の定期的会議を開催していること。
 - ③指定の手順、等
 - * 事前に精神科病院協会千葉県支部に説明し承認を得る。(協議によっては内容の修正もあり得る。)
 - * その後、千葉県内すべての精神科病院に「地域移行・定着協力病院」として登録するよう県から依頼する。
 - * 登録後は、登録病院を対象とした県主催の定期的会議を開催することにより、地域移行・定着を加速する。
4. 千葉県精神科病院情報公開に向けて
 - ①その必要性の根拠
 - * 地域移行・定着を進めるための指標の公開提示
 - * 「精神疾患に関する医療計画 目指すべき方向」
 - ⑤医療機関等が提供できる医療支援の内容や実績等についての情報を公開することで、患者が医療支援を受けやすい環境を構築すること。

*指標、実績等が優れている病院にとっては、県から公開されることでのメリットがある。

②情報公開の内容

病床数、平均残存率、退院率、平均在院日数

医療従事者数（医師、看護師、PSW、OT、CP 等）

精神科訪問看護実施の有無

精神科救急病棟の有無

救急輪番の実施の有無

デイケア実施の有無

「退院促進協力病院」であるか、等々

③実施の手順

*医療計画作成に向けて、千葉県精神科病院情報公開の必要性の意義を県より精神科病院に説明し、公開を前提とした調査をおこなう。

*調査は、県が把握している各病院の上記情報を各病院に送付し、各病院の掲載同意を得ることを目標とする。各病院の希望により項目ごとの一部不掲載も認める。

*県は、結果をとりまとめ公表する。（ホームページに公開する形でも良いが、印刷物も作成し各病院・関連団体等に送付する方がインパクトを持ちうる。）

*以後、毎年アンケートをおこない更新する。（アンケート内容は毎年吟味する。）